

末広



末広でも総会

6月18日、行政を含む12事業所・団体、21名の方が出席され、平成25年度末広地区緑のまちづくり協議会総会が開催されました。



▲6月18日 会場:東芝

会員13団体のうち出席10団体で過半数を超えており、総会成立が報告されました。

議事はH24年度民有地整備6件と維持管理活動の実施報告に続き会計報告があり承認。続いてH25年度役員改選が行なわれ、全ての役員が承認されました。

今年度申請内容では、維持管理活動の事業計画案の説明があり、ハマロードサポーターへの参加を含め、各制度を活用して末広町プロムナードの維持管理の向上を図ること等が討議されました。公共緑化では末広町プロムナードの今年度整備区間を討議。昨年度整備した隣接地から北に向かって進めていくことで了承されました。主な協議内容は次のとおりです。



▲東京ガス環境エネルギー館
整備報告の一部
(資料提供:東京ガス環境エネルギー館)



▲ジャパン マリンユナイテッド
整備報告の一部
(資料提供:ジャパン マリンユナイテッド)



▲東芝 本工場
整備報告の一部
(資料提供:東芝)



▲東芝 タービン工場
整備報告の一部
(資料提供:東芝)



▲旭硝子 整備報告の一部
(資料提供:旭硝子)



▲JFE エンジニアリング
整備報告の一部
(資料提供:JFE エンジニアリング)

項目		内容
平成24年度実施報告	民有地緑化	
	東京ガス(株)環境エネルギー館	エントランス広場と末広町プロムナード沿いの带状地での緑化整備の実施報告がありました。 ・エントランス広場ではシンボルツリーや生垣、竹シガラを作り、駐車場バイパス路に植栽プランター設置 ・沿道带状地ではビオトープの考えを取り入れ季節感があり鳥を招く実や花の成る樹木を植栽
	ジャパン マリンユナイテッド(株)横浜事業所	水際にある柳の補植の実施報告がありました。 ・昔は柳が30本位あったが老朽化し、朽ち果てたのは抜き、新たに18本を植栽 ・3月中旬に植栽し2週間位でかなり芽が出て、現在は新しい樹にも枝が出てきている
	(株)東芝 京浜事業所	本工場での緑地整備とタービン工場でのビオトープ整備の2事業の実施報告がありました。 ・海芝浦駅から見える場所で植栽の整備から下草の新植、客土等を実施し、防火水槽周辺も整備 ・放置された庭園跡を再利用し小川から池までのビオトープ形成と植栽の再配置 昨年は流路整備
	旭硝子(株)京浜工場	産業道路交差点から鶴見線踏切までの沿道の緑化フェンス整備の実施報告がありました。 ・昔からあったコンクリート塀を取り払いフェンスに換え、下からツタを這わせて緑化フェンスを整備 ・かなりのスピードで伸びていて、3年位でフェンスの上までツタが来る予定
	JFE エンジニアリング(株)鶴見製作所	弁天橋駅前広場に続くパズル式立体駐車場前の緑化整備の実施報告がありました。 ・駅前広場からの植栽が途切れていた沿道に、新たにプランターを設置して花苗を植付 ・給水装置付きプランターなので水やりの負担は軽減
	維持管理	
	トンボみちファンクラブ	維持管理活動の実施報告がありました。 ・末広町プロムナードでの花苗植付等の維持管理、バス見学や通信発行等の広報研修、事務等を実施 ・課題は、花苗植付場所の増加と宿根草への切替、フラワーロード事業で設置したプランターの老朽化、育樹のつどい等協働活動が実施できなかったこと、想定以上の印刷費等
	平成24年度会計報告	H24年度協議会収支決算報告と収支決算監査報告がありました。 ・会計(JFE エンジニアリング)より収支決算報告と監事(旭硝子)による監査の報告
	平成25年度役員改選	H25年度役員が改選されました。 会長:東芝 副会長:東京ガス環境エネルギー館 会計:JFE エンジニアリング 監事:旭硝子

みんなで見守ろう！「育樹のつどい」開催

6月16日(日)、末広水際線プロムナードで、第9回「育樹のつどい」が開催されました。このつどいは、昨年まで横浜市が主催していましたが、今年から末広地区緑のまちづくり協議会が主催し、横浜市と協働で行っています。時折小雨が降る梅雨空にもかかわらず、今年も約50名(スタッフを含む)の市民、地元企業、行政の方々に参加されました。



▲除草作業の様子

除草作業前に行なわれた緑地見学において、10年前に植樹された苗木が、海沿いの厳しい環境にもかかわらず、大きく成長していることを参加者全員で確認。クヌギ、コナラ、エノキ等の高木、そしてハナモモ、ハマボウ、トベラ、シャリンバイなどの中低木が元気に枝を伸ばし葉を広げていました。(注)

驚くことに、この前日に約2メートルの青大将も目撃されており、多くの生きものが暮らす豊かな森を形成しつつあることがうかがわれます。

緑地見学の後、約1時間、セイタカアワダチソウ、センダングサなどを除草した結果、埋もれかけていた低木類が姿を現しました。



▲恒例の集合写真

参加された方からは、「機械で事前に刈って、出来ないところを草取りしてはどうか」、「釣り関係のゴミが多く対策が必要」など貴重なご意見を頂きました。この緑地を見守ってゆくための、年間を通した愛護活動の立ち上げについてのお知らせを希望される方は、下記へお問合せください。

問合せ先:トンボみちファンクラブ 柴田芳宏

電話 090-4627-8821、eメール qy8y-sbt@asahi-net.or.jp

(注):植樹から現在までの状況は、この通信6月号(2013年6月10日発行)で詳しくご覧頂けます。

夏だ! 京浜臨海部 de 観察会
生き物観察会 in 環境エネルギー館

田んぼイベント

末広

この夏は京浜臨海部で生き物とふれあいましょう。環境エネルギー館では田んぼで生き物観察会が開催されます。



▲昨年の生き物観察会 (環境エネルギー館 HP より)

田んぼにはどんな生き物がいるのかな?

生き物をつかまえて一緒に観察をしよう!

日時:7月25日(木)、26日(金) ※雨天中止

時間:(1)11:00~ (2)13:30~ (3)14:30~ (各回約30分)

対象:幼児~中学生(幼児は保護者同伴)

定員:15名(先着順)

集合:開始時間の5分前までに田んぼの前に集まってください
 持ち物:汚れてもよい服、帽子、タオル

この他にも、夏休み期間中は恒例の「身近な生き物体験博物館」(協力:財団法人横浜市教育文化研究所)をはじめ、いろいろなイベントがたくさんあります。詳しい情報は、つぎのWEBでどうぞ。

<http://www.wondership.com/>

どんなトンボに出会えるかな
今年もトンボ調査が行なわれます **調査員大募集**

京浜臨海部

トンボはどこまで飛ぶか本調査

日程:7月29日から8月4日

時間:9:00~12:00

場所:京浜臨海部の企業緑地公園など7カ所

小中学生対象「トンボとり大作戦」



日時:8月17日(土)9:00~11:00 ▲昨年の入船公園での本調査

場所:入船公園、参加費300円、(画像提供:日産クリエイティブサービス)

申込不要、直接現地へ

お問合せ先:トンボはどこまで飛ぶかフォーラム事務局

FAX:045-534-7597 eメール: tonboforum@mail.goo.ne.jp



末広でも総会(続き)

項目	内容
平成25年度事業予定	<p>育樹のつどいの報告と事務運営等の進め方、今年度事業計画案の説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育樹のつどいは総会前の活動となったため事前の表決を行い横浜市と協働で実施 参加 46 名 ・維持管理活動では花苗植付(9、12月)や緑化ボランティアの剪定講習開催、末広水際線プロムナードでの草取り、トンボ池の水草整理等を予定 ・広報活動では地域イベントで除伐材利用のクラフト作成やHP立上も予定 ・研修活動では9月に狭い運河も航行可能な小型船舶による海上からの水辺緑化見学を検討中 ・今年度の活動では、ハマロードサポーターへの参加を含め、各制度を上手く活用して末広町プロムナードの維持管理の向上を図る ・維持管理の助成対象外費用の負担については今後の検討課題 ・市 HP へ通信や活動状況を載せる申出があり写真の取扱いに注意することを前提として了承
	<p>緑化整備</p> <p>民有地緑化</p> <p>今年度の緑化整備予定は旭硝子、環境エネルギー館、ジャパン マリンユナイテッド、東芝の4社申請を行なう前の具体的な計画が決まったところで報告</p> <p>公共緑化</p> <p>施工が持越しとなった北部第二水再生センターの状況報告と末広町プロムナード今年度整備区間の検討をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水再生センターは設計が終了し今年度中に施工を発注する予定で、業者が決定次第報告 ・今年度の末広町プロムナード整備は鶴見小野駅からの歩行者を対象として前年度整備済区間隣接地から北に向かって行なう 整備可能区間が確定した段階で整備プランを提示
その他	・特になし。

豊かな環境の産業拠点を目指して
「協働緑化の取組」ができました

10周年を迎えた京浜の森づくり事業。これまでの経緯や取組を分かりやすく解説し、企業緑地の設計、維持管理、活用等を行なっていただく際の参考となるよう「京浜の森づくり事業 協働緑化の取組」(A4判43頁)が作成されました。

工場立地法や緑の環境をつくり育てる ▲「協働緑化の取組」条例に基づく個々の事業所による緑化 (資料提供:横浜市) に対する支援事業等の紹介をはじめ、実際の緑化計画立案の際の緑地配置のポイントや植物資材選定のポイントなど、



▲「協働緑化の取組」概要版の一部(資料提供:横浜市)

具体的な事例を示してまとめられています。横浜京浜臨海部という地域に即した視点で整理され、緑地整備だけでなく維持管理を行なう場合にも有用な内容となっています。

閲覧、ダウンロードは下記サイトどうぞ。

▲「協働緑化の取組」目次(資料提供:横浜市)
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/green/keihin/kigyou.html>

1 はじめに	1
2 京浜の森づくり事業とは	1
(1) 横浜京浜臨海部の概要	1
(2) 「京浜の森」が育ち育める	2
(3) 「協働」の考え	2
(4) 横浜京浜臨海部の自然環境の可能性と取組	3
3 横浜京浜臨海部における横浜市の取組と支援事業など	5
(1) 本業に関する法・条例・事業	5
(2) 京浜の森づくりに関する事業	6
(3) 地域緑のまちづくり事業	6
(4) その他の関連事業	6
(5) 横浜京浜臨海部の森づくりに関する取組の概要	7
4 貴産地を高める緑と水・河を目指してどこに植えるか	10
(1) 敷地計画における緑の配置のポイント	10
(2) 植栽計画を定める工夫	20
5 横浜京浜臨海部の自然環境と緑と水・河を植えるか	31
(1) 横浜京浜臨海部の自然環境	31
(2) 緑地計画の考え方	32
(3) 緑地計画の考え方	37
(4) 貴産地を高める緑と水・河を植えるか	38
(5) 敷地計画の考え方	42
6 京浜の森づくり事業 協働緑化事例集	39
(1) 概要 企業メーカの緑地と協働緑化	39
(2) 事例 産業界の緑地と協働緑化	40
(3) エリアアップ 産業界の緑地と協働緑化	40
(4) 貴産地を高める緑と水・河を植えるか	42
(5) 敷地計画の考え方	42



▲「協働緑化の取組」本編の一部(資料提供:横浜市)

「植樹のつどい」が開催されました

6月7日(金)、貨物線の森緑道予定地(大黒町)において横浜市主催の「植樹のつどい」が行われ、鶴見区駒岡小学校6年生103人が参加しました。このつどいには、貨物線の森ファン倶楽部(通称;貨森倶楽部)メンバーも子どもたちのサポート役として参加しました。

同緑道は民間の「高原の森基金」から、継続的に植樹をして臨海工業地帯に緑のオアシスをつくる事業として資金援助を受け、平成20年に最初の植樹が行われました。その後、植樹に参加された市民らによって貨森倶楽部が組織され、草取りなどの手入れも行



▲子どもたちのサポート役の貨森倶楽部メンバー



▲最初の植樹地 貨物線の森緑道 (H20.10撮影)

われています。緑道予定地には、子どもたちがタネから育てたドングリなどの苗木が植樹されており、これも貨森倶楽部が手入れを行っています。



▲どのくらい掘ればいいのか(植樹の様子)



▲緑道予定地(大黒町)に新たな植樹地ができました

つどい当日は、子どもたちから横浜市みどりアップ推進課藤田課長、貨森倶楽部檜垣代表及び特別参加の「みどりちゃん」にそれぞれ苗木が贈呈され、「ドングリ博士」から植樹の方法について説明を聞いた後、各班に分かれて植樹を行いました。最初は皆、戸惑いの様子を見せていましたが、すぐに手際よくきれいに植え付けられました。植樹後は、全員で恒例の記念撮影を行い、帰りにはおみやげももらって笑顔がいっぱいでした。



夏だ! 京浜臨海部 de 観察会
ファミリー自然観察会

in キリン横浜ビアビレッジ

生麦
新子安

キリン横浜ビアビレッジでも、「NPO法人鶴見川流域ネットワーク」と共催で「ファミリー自然観察会」が開催されます。昨年8月に整備したビオトープに生息するザリガニやヤゴを自分で採取し、目の前で観察していただくほか、同NPOの解説により身近な生物についても学ぶことができます。



▲ザリガニの採取
(キリン横浜ビアビレッジ HP より)

日時：7月21日(日) 11時20分～12時45分
会場：キリン横浜ビアビレッジ
定員・対象者：小中学生20名と20歳以上の保護者
※必ず保護者同伴でお申し込みください(未就学児不可)
参加費：無料
お申し込み方法 お電話にてお申込下さい
※予約は先着順です
定員になり次第、締め切らせていただきます
お問合せ先：キリン横浜ビアビレッジ
TEL 045-503-8250
(受付時間10時～17時 月曜休館
※祝日の場合は翌平日
※4～11月の第一・第三月曜日は営業)

夏休み期間中は、小学生と保護者を対象に、参加型のイベントを通して地球環境保全への関心をさらに高めていただくことをめざした夏休み環境教室も開催されます。詳しい情報は、つぎのWEBをご覧ください。

<http://www.kirin.co.jp/about/brewery/factory/yokohama/event.html>



貨物線の森ファン倶楽部」から

6月は草取り。6月9日(日)大黒町。鎌を上手に使いこなすメンバーは軽快に草を刈り込んでいきます。今回主に除草したのはセイトカアワダチソウ(背高泡立草)やセンダングサ(梅檀草)。セイトカアワダチソウは1本から27万個の種子ができるとか。センダングサはタネになると衣服につき取れにくい。何れもタネがつく前に抜きました。



▲大黒町 草取り

6月15日(土)新子安橋。枯れた苗を抜いてプランターの手



横浜港臨海部埋立地を歩く
季刊誌「横濱」で京浜地区が紹介されました

京浜
臨海部



▲季刊誌「横濱」
2013年夏号
(同号表紙)

夏と言えば海。海と言えば港。季刊誌「横濱」2013年夏号の特集は「横浜港を楽しむ」。港の景色を楽しめるランチスポットの紹介やクルーズ客船等の話に続き、「横浜港臨海部埋立地を歩く」では、京浜地区も紹介されています。

現地の案内役は京浜の森づくりボランティアガイド講座講師の園部

弘明氏。同地区初来訪とおぼしき取材担当者と、末広から生麦新子安、大黒へと各地区のグリーンスポットを次々に巡っています。訪れた先での写真には、緑溢れる風景とともに、港を眺めた風景や長年現地で操業している倉庫や工場を撮ったものもあります。



▲京浜地区を紹介している
「横浜港臨海部埋立地を歩く」の一部
(季刊誌「横濱」2013年夏号より)

意外なところにある眺望の穴場も紹介されています。

目次や販売場所等は **季刊誌横濱** **検索** どうぞ。



▲新子安橋 手入れ



▲宝町 草取り

入れ。何処から来たのか「アカマンマ」と呼ばれるイヌタデ(犬蓼)が生えていました。その後は JX 前へ移動。沿道のゴミを拾いながら、ここでも草取りに精を出しました。

今月は恒例の早朝草取りです。ご参加お待ちしております。

①早朝草取り 7月14日(日) 6時半～ 大黒町

②草取り 7月20日(土) 9～12時 恵比須町

8月の活動はお休みです。

編集担当から

◆ラジオから聴こえた「都会に自然が無いというのは大人の先入観 自然が無いのではなく身近な自然を感じる感性が失われている」の一言。目の前の些細なモノや出来事から、それを支える人や自然を思い描いたら、あらゆる場所は広い世界へのスイッチ。さあ夏本番。未知なるスイッチ探しに京浜臨海部へ出かけましょう。観察会や、おすすめスポット巡り。運河の眺めもイイですよ。(Y)

